

## D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	サインバルタカプセル 20mg 劇 市販直後調査 平成22年4月～平成22年10月
(英名)	Cymbalta
(規格・含有量)	1カプセル中デュロキセチン塩酸塩 22.4mg(デュロキセチンとして20mg)を含有する
(一般名)	デュロキセチン塩酸塩
(メーカー名)	塩野義製薬
【薬価収載日】	2010年4月
【薬価】	169.30円/1Cap
【薬効コード】	871179
【薬効分類名】	セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤
効能・効果	うつ病・うつ状態
用法・用量	通常、成人には1日1回朝食後、デュロキセチンとして40mgを経口投与する。投与は1日20mgより開始し、1週間以上の間隔を空けて1日用量として20mgずつ増量する。 なお、効果不十分な場合には、1日60mgまで増量することができる。
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者 3. 高度の肝障害のある患者 4. 高度の腎障害のある患者 5. コントロール不良の閉塞隅角緑内障の患者
相互作用	禁忌:モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤 セレギリン塩酸塩(エフピー) 他剤副作用増強 ピモジド アルコール 他剤作用増強 アルコール 本剤作用増強・他剤作用増強 ①中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体、ロラゼパム等)②アドレナリン、ノルアドレナリン、③ワルファリンカリウム等 本剤作用増強 ①フルボキサミンマレイン酸塩、②シプロフロキサシン、③エノキサシン、④パロキセチン塩酸塩水和物、⑤キニジン硫酸塩水和物等 本剤副作用増強 ①三環系抗うつ剤(アミトリプチン塩酸塩、ノルトリプチン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩等)、②フェノチアジン系抗精神病剤(ペルフェナジン)、③抗不整脈剤(プロパフェノン塩酸塩、フレカイニド酢酸塩) 本剤副作用増強・他剤副作用増強 ①セロトニン作用薬(炭酸リチウム、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(SNRI)及び選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)、トラマドール塩酸塩、トリプタン系薬剤、L-トリプトファン含有製剤、リネゾリド等)、②セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品等、 他剤作用減弱 クロニジン塩酸塩等 出血傾向が増強することがある 出血傾向が増強する薬剤(非定型抗精神病剤、フェノチアジン系薬剤、三環系抗うつ剤、アスピリン等の非ステロイド系抗炎症剤、ワルファリンカリウム等)
副作用	重大な副作用 セロトニン症候群、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)、痙攣、幻覚、肝機能障害、肝炎、黄疸、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、アナフィラキシー反応、高血圧クリーゼ、尿閉(類薬) Syndrome malin(悪性症候群) その他 倦怠感、傾眠、頭痛、めまい、不眠、悪心、口渇、便秘、下痢、腹部痛、食欲減、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、トリグリセリド上昇
備考	2011年4月30日まで新薬投薬制限あり(14日間)

(薬品名)	ブリディオ静注 200mg	市販直後調査 平成 22 年 4 月～平成 22 年 10 月
(英名)	Bridion Intravenous 200mg	
(規格・含有量)	1 瓶(2mL)中スガマデクスとして 200mg を含有する	
(一般名)	スガマデクスナトリウム	
(メーカー名)	シェリング・プラウ	
【薬価収載日】	2010 年 4 月	
【薬価】	9,947.00 円/瓶	
【薬効コード】	873929	
【薬効分類名】	筋弛緩回復剤	
効能・効果	ロクロニウム臭化物又はベクロニウム臭化物による筋弛緩状態からの回復	
用法・用量	通常、成人にはスガマデクスとして、浅い筋弛緩状態(筋弛緩モニターにおいて四連(TOF)刺激による 2 回目の収縮反応(T <sub>2</sub> )の再出現を確認した後)では 1 回 2mg/kg を、深い筋弛緩状態(筋弛緩モニターにおいてポスト・テタニック・カウント(PTC)刺激による 1~2 回の単収縮反応(1-2PTC)の出現を確認した後)では 1 回 4mg/kg を静脈内投与する。また、ロクロニウム臭化物の挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合、通常、成人にはスガマデクスとして、ロクロニウム臭化物投与 3 分後を目安に 1 回 16mg/kg を静脈内投与する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> トレミフェン <b>他剤作用減弱</b> 経口避妊剤	
副作用	<b>重大な副作用</b> 過敏症、気管支痙攣	
備考	本剤はロクロニウム臭化物又はベクロニウム臭化物以外の筋弛緩剤による筋弛緩状態からの回復に対しては使用しないこと。	

(薬品名)	アロキシ静注 0.75mg	劇	市販直後調査 平成 22 年 4 月～平成 22 年 10 月
(英名)	Aloxi I. V. injection 0.75mg		
(規格・含有量)	5mL 中にパロノセトロン塩酸塩 0.84mg (パロノセトロンとして 0.75mg)を含有する。		
(一般名)	パロノセトロン静注製剤		
(メーカー名)	大鵬薬品		
【薬価収載日】	2010 年 4 月		
【薬価】	14,522.00 円/瓶		
【薬効コード】	872391		
【薬効分類名】	5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤		
効能・効果	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)		
用法・用量	通常、成人にはパロノセトロンとして 0.75mg を 1 日 1 回静脈内投与する。		
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者		
相互作用	-		
副作用	<b>重大な副作用</b> アナフィラキシー様症状 <b>その他</b> 便秘、ALT (GPT) 上昇など		
備考	①本剤の消失半減期は約 40 時間であり、短期間に反復投与を行うと過度に血中濃度が上昇するおそれがある。1 週間未満の間隔で本剤をがん患者へ反復投与した経験はないため、短期間での反復投与は避けること。 ②本剤は強い悪心、嘔吐が生じる抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)の投与の場合に限り使用すること		

## 削除医薬品通知

### ●6月1日より

・レスミット錠 5mg	…削除
・テトカイン注用 20mg「杏林」	…削除
・オンダンセトロン注射液	…削除
・ナゼア注射液	…削除
・アンダーム軟膏 5% 10g	…販売中止のため削除
・アンダームクリーム 5% 10g	…販売中止のため削除
・ソニフィラン筋注 20mg	…販売中止のため削除

### ●7月1日より

・クラビット錠 100mg	…消尽後削除
---------------	--------

## 適応追加通知

タンボコール錠 50mg・100mg	<p><b>小児頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性)</b>          通常、6カ月以上の乳児、幼児及び小児にはフレカイニド酢酸塩として1日 50～100mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を、1日2～3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日最高用量は 200mg/m<sup>2</sup>とする。          通常、6カ月未満の乳児にはフレカイニド酢酸塩として1日 50mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を、1日2～3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日最高用量は 200mg/m<sup>2</sup>とする。</p>
献血ベニロン-I 静注用 (500mg・2500mg・5000mg)	<p>低又は無ガンマグロブリン血症  <b>通常、1回にスルホ化人免疫グロブリンG200～600mg(4～12mL)/kg 体重を3～4週間隔で点滴静注又は直接静注する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。</b></p>
献血ヴェノグロブリン IH 5% 静注 (0.5g/10mL・2.5g/50mL・5g/100mL)	<p>無又は低ガンマグロブリン血症：  <b>通常、1回人免疫グロブリン G として 200～600mg(4～12mL)/kg 体重を 3～4 週間隔で点滴静注又は直接静注する。なお、患者の状態により適宜増減する。</b></p>
献血グロベニン-I 静注用 (2500mg)	
日赤ポリグロビン N 5%静注 ( 5g/100mL)	

## 医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
<p>6月1日より</p> <p>フェルムカプセル 100mg (日医工)</p>	<p>フェルムカプセル 305mg (日医工)</p>
<p>6月11日より</p> <p>メチルエルゴメトリン注 0.2mg「あすか」 (あすか)</p>	<p>メテナリン注 0.2 (あすか)</p>